

平成28年度 入学試験問題

国語

九州国際大学付属中学校

【注意事項】

- 1 開始合図のチャイムが鳴るまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- 2 開始合図のチャイムが鳴ったら、最初に解答用紙と問題用紙に受験番号・氏名を書きなさい。
- 3 試験時間は50分です。
- 4 解答はすべて、問題の指示にしたがって解答用紙に記入しなさい。
- 5 問題用紙で、印刷がはっきりしないところがあったら、静かに手をあげなさい。
- 6 答案ができあがっても、終了合図のチャイムが鳴るまで静かに着席していなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

二

次の文章をよく読んで、あとに問い合わせなさい。なお、設問の都合で本文を一部変えてあります。また、字数指定のある問題は、句読点なども一字と数えます。

ニホンミツバチはよく逃亡^{とうぼう}すると言われる。ある日、突然^{とつぜん}どこかに一家そろって飛び去るのである。前触れがあつたはずだが、人が感じ取れなかつたのである。わけもなく逃亡はしない。現在の住処^{すみか}が気に入らなければ逃亡するには当たり前である。逃亡でなく、引^ひつ越しである。その引^ひ越しを人間のⒶ都合^{じゆご}で、「逃げやがつた」などとがつかりしたり怒^{おこ}つたりしてもしようがない。①セイヨウミツバチは逃亡しない。どんなに食糧事情^{じようじょう}が悪くなつても、そこで餓死^{がし}するだけである。

この違いはどこからくるのか。ニホンミツバチは、逃亡を組織するだけの言葉を持つてゐるのである。逃亡を決めるときは、Ⓐ「ここは食糧に乏しい。東に一キロばかり行つたら、もつと豊かな森がある。今いる幼虫^{ぐわく}を育て上げたら家移りしよう」と誰かが提案し、みんなで討議し、決議するのである。そして移転日^{いわん}を決め、【その一週間前から無駄なミツと花粉は集めない。そしてその前日には、Ⓑ貯^{たま}めていたミツを全員が腹いっぱい食べる。噛^かみ破られた巣房^{そうぼう}から流れ出るミツで巣門^のが濡^ぬれる】そして当日、一斉に巣を出て、あつという間に飛び去る。言葉なしにこれだけの計画は立てられない。

ニホンミツバチは喜怒哀樂^{きどあらう}の感情も持つていて、それを常に羽音や体の動きで表現^{ひけん}している。Ⓑ一つの群れは一つの感情を常に共有^{こうゆう}している。私はニホンミツバチを扱^{あつか}うときは無意識のうちに羽音に耳を澄^すませてゐる。一つの群れのハチたちが今何を考えているのか、リアルタイムで理解^{りやく}している。嬉しいときは嬉しそうな羽音、いらだつときは苛立たしそうな羽音、怒つたときは甲高い羽音を出す。その羽音が人間のⒸ口調^{くじょう}と同じなのが不思議^{ふしきぎ}である。人間と同じ心を持つてゐるとしか思えない。

ある蜂場をⒹ訪れたとき、ちょうどニホンミツバチが女郎グモの巣にかかつたところであつた。クモの巣の端^{はし}の方である。②そのハチは「ビーツ」と羽を鳴らしていた。女郎グモがそちらへ行きかけると、一匹のハチが飛んできた。知らせを聞いて巣箱から助けに来たのである。

女郎グモは慌^{あわ}てて巣の真ん中の自分の定位位置^{もじ}に戻^{もど}り、巣を前後に揺らしてハチに捕まるのを避けた。ニホンミツバチはクモが揺れているので、その背中に取りついて刺すことができず、クモの腹側にまわり、クモと向き合うようにクモの巣の上に止まつた。Ⓑ、そこから刺すには『剣』^{けん}が届かない。ハチはクモの胸の前の糸を噛^かみ切り始めた。クモの巣の真ん中には糸の目が混んだところがあるが、そこはこんな場合のための盾^{たて}であることをそのときはじめて知つた。ハチはそこを切り開き、『剣』を差し込んでク

C

モの胸の真ん中を刺そうとした。その瞬間、クモはパッと落下して地上に落ちた。ハチはクモを仕留めることはできなかつたが、仲間を救うことはできた。かかつていたハチはゆっくり蜘蛛の糸を解いた。

個々のハチにこれだけの④思考力があり、素早いコミュニケーション手段も持つているのだから、一つの群れは高度な脳の塊と見ていいのではないだろうか。

ミツバチは「剣」を一度使うと、その「剣」には「もどり」がついていて、ハチのお尻から離れ、そのハチは死ぬ。クモを仕留めることができなかつたので、③そのハチは命拾いをしたわけである。もしかしたら最初から刺すつもりはなかつたのかもしれない。一匹の仲間を救うために一匹が死ぬのでは計算が合わないからである。どちらだったのかはわからないが、④ミツバチも「愛のために死ねる」のかもしれない。

（久志富士男『二ホンミツバチが日本の農業を救う』より）

問一　――①～④の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二　――A　↓　C　――
ア　さらに　イ　まず　ウ　しかし　エ　そして　オ　だから

問三　――①「セイヨウミツバチは逃亡しない。どんなに食糧事情が悪くなつても、そこで餓死するだけである。」とありますが、セイヨウミツバチが逃亡しない理由を、筆者はどう考えていると判断できますか。本文の内容をふまえて簡単に答えなさい。

問四　【その一週間前から巣門が濡れる。】とあります。これら行動のことを筆者は一言で表現しています。その言葉を本文中から三字でぬき出しなさい。

問五　――②『そのハチは「ビーツ」と羽を鳴らしていた』とありますが、これは何のためですか。次の□にあてはまる言葉を本文中の言葉を使って、五字程度で答えなさい。

女郎、グモの巣にかかつた二ホンミツバチが□ため。

問六

——③「そのハチは命拾いをしたわけである」とあります、なぜ命拾いしたと言えるのですか。次の□にあてはまる言葉を、本文中の言葉を使って二十五字程度で答えなさい。

クモを仕留めることができなかつたということは、□。

問七

——④『ミツバチも「愛のためには死ねる」のかもしれない』とあります、筆者は、ミツバチのどのような行動からこのように考えたのですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア ニホンミツバチが、仲間を助けるため、剣を使って女郎グモに立ち向かつたことから。
イ ニホンミツバチは、生まれた場所を愛しているため、その場を移動せずに餓死したことから。
ウ ニホンミツバチが、クモの巣にかかつた仲間のために、助けを呼んだことから。
エ ニホンミツバチが、自分の子供を守るために命をおしまずに戦つたことから。

問八

次にあげる文について、本文の内容に合っているものには○を、そうでないものには×を、それをつけなさい。

- ア ニホンミツバチは、食べ物がなくなると仲間と相談をして、どこかに飛び去ってしまう。
イ ハチは本来、人間と同じように、羽音を使って他のハチとコミュニケーションをとっている。
ウ 女郎グモの巣にかかつたハチは、クモの巣を使って盾を作り、捕まらないようにしている。
エ ニホンミツバチは個々で判断し行動することはできないが、群れると高度な脳の塊となる。
オ ミツバチの針は、一度使うと自分の体から外れてしまい、ハチは命を落としてしまう。

〔二〕 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

すみれちゃんは、私（ひばりさん）の名前を付けてくれたおばあちゃん。本当のおばあちゃんではないけれど、ずっと一緒に住んでいる。私はそんなすみれちゃんが大好きで、おばあちゃんと小学生が親友なんて変だと友達に言われるが、二人は唯一無二の親友だった。そんなある日、すみれちゃんは頭の上でオカメインコの卵を育てていた。私も一緒にお世話をして、一羽の雛が生まれた。そこで、この雛に名前をつけようと私が提案する。

黙^{だま}つて いると、すみれちゃんが引き出しの奥^{おく}から小さな箱を取り出した。

「これはどうかと思いまして」

手鏡や体温計がしまってあるいつもの上の段の引き出しじゃなく、一番下にある引き出しだ。すみれちゃんはもつたいぶつた様子で、Aと箱のふたを持ち上げた。外国のチョコレートか何かが入っていたと思われるきれいなⓐモヨウの箱の中には、太さも細さも素材もまままちの、色とりどりのたくさんのリボンが入っている。一本ずつ、ていねいにくるくるまとめられていた。

「リボン？」

「そうです、リボン」

「リボンが、この子の名前つてこと？」

「はい」

それからすみれちゃんは急に自信のなさそうな様子になり、どうでしょう？と付け足した。

雛は、すみれちゃんが膝^{ひざ}の上に置いた帽子^{ぼうし}の底^{そこ}で、もうすでにすやすやと眠り始めている。すみれちゃんの膝の上にはⓑモウフ^フでくるんだ電気アンカ^{ムカ}が置いてあるから、きっとⓒアタタカク^{ムカク}て気持ちいいに違いない。

「あんまり、お気に召^めさない？」

「ほんやりしていたら、すみれちゃんが不安そうに私を見ているのに気づいた。

「どんでもない！」

私はあわてて否定した。時々すみれちゃんが、どんでもないことですが、なんて流暢^{りゅうちょう}に使うので、私にもその言葉づかいが移ったのだ。
「リボンでしょ、すつごくいい名前だと思うよ」

→言葉がすらすらと出る。こと。

でも実は **□**、私も私でこの子の名前を考えていた。けれど、ショコラとかキャラメルとか、あんことか金平糖とか、甘くておいしそうな名前ばかりが浮かんでしまい、どうも決め手がなくて困っていた。

①そんな状況だつたので、すみれちゃんの案は、全然予想もしていなかつた別のところへ、大きく世界を広げてくれた。かわいいし、なんだか呼びやすそ^うだし、私もそれに大④サンセイだ。

「わたくしと、ひばりさんを結ぶ、永遠のリボンです」

すみれちゃんは、天井を見上げてぱつりと言つた。何か、とても大切なことを誓うかのように。

きつとすみれちゃんの瞳には、天井に広がるシミが天の川に、白い斑点が輝く星たちに見えているのだろう。すみれちゃんは、天井に広がる夜空を見上げたまま続けた。ふと、餌を食べる時のリボンと横顔がだぶつた。

「いつか、わたくしはひばりさんの前からいなくなります。悪いことをたくさんしてしまつたので、もしかしたら天国の入り口で門前^{もんぜん}に**→**追い返すこと。
払いされてしまふかもしれませんけど。でもとにかく、この世から姿を消します」

「そんなこと……」

いきなり言わないでほしかつた。私はいつまでもずっと、すみれちゃんと一緒にいたい。そう伝えたいのに、②喉がふさがつて思うように声が出せない。その気持ちが、そばにいるすみれちゃんの心に、空気を通して伝わつたのかもしれない。

「だつて、わたくしはもうおばあさんですもの。でも心配いりませんよ。まだひばりさんの前からいなくなつたりはしませんから。
③わたくしはこの子に、責任がありますもの」

すみれちゃんは、④セスジを伸ばし、しゃんとして言つた。

「けれど、ひばりさんよりも長く生きることは、まずないでしょう。自然の定めですから、仕方がありません。でもね、魂は、きっといつまでもひばりさんのそばにいると思うの。目に見えないけれど、きっといます。そのことをいつも思い出してほしくて、この子に、リボンという名前をつけたいのです」

そこまで言つと、ようやくすみれちゃんは私の方へと顔を戻した。

「たましい？」

もちろん言葉としては知つてはいるけれど、ちゃんとした意味はわからなかつた。

「魂は、わたくしたちにとって、もつとも重要なものです。魂がけがれてしまつたら、すべてを失いますから」

「心とは違うの？」

「ひばりさん、いい質問ですね。心とは、違うものなのです」

すみれちゃんは即答した。そして、

「魂は心に守られ、心は更に体に守られています」と、確信に満ちた表情で付け足した。

私はしばらく頭の中でイメージした。魂は心に守られて、心は体に守られている。ってことは……、

「イチゴ大福みたいなもの!」

ふとひらめいて、私は言つた。

「そうです、その通りです」

すみれちゃんがパツと目を見開く。④二つのきれいな湖が、お日様に照らされたように輝いた。

「外のお餅が①だとしたら、次のあんこが②、中心にある③が、そう、まさに④です。ひばりさん、イチゴ大福のメインは何だと思いますか?」

「イチゴ!」

張り切つて答えた。だつてイチゴ大福からイチゴを外したら、それではただの大福になつてしまつ。

「そう、そして、ここからが大事ですよ」

すみれちゃんは、光り輝く湖の目で私をじっと見た。

「わたくしの魂とひばりさんの魂は、永遠にリボンで結ばれているのです」

リボンが、私とすみれちゃんの魂を結んでいる。透明な、見えないリボンでつながつてゐる。それを思つたら、私の胸に、なんだかCとその正体はわからないけれど、海の中でおしつこをしたみたいに、切なくてあつたかいものが広がつてきた。

「⑤リボン」

私はゆっくりと声に出して呼びかけた。リボンが、はい?なあに、という⑥とした顔で、なんとなく私の方を見る。なんですか、いい名前だろう。

呼べば呼ぶほど、すみれちゃんとの絆が強くなるような気がしてならなかつた。そして、とつぜんリボンへの愛情が、ぶわっと巨大な葉っぱのように芽吹いたのだ。

(小川糸『リボン』より)

問一 —— ③ ④ ⑤ のカタカナを漢字に直しなさい。なお、送りがなが必要なものは、適切につけること。

問二 □ A □ D にあてはまる言葉を、次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア こつそり イ しつかり ウ おつとり エ ゆつくり オ はつきり

問三 —— ① 「そんな状況」とあります、具体的にどのような状況ですか。次の□にあてはまる言葉を、本文中から十五字以内で書きぬきなさい。

シヨコラやキャラメルなどという名前にしようかと考えていたが、これといった□状況。

問四 —— ② 「喉がふさがって思うように声が出せない」とありますが、その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア すみれちゃんが私の前からいなくなると言うので、どこに行くのかを考えていたから。

イ すみれちゃんが昔悪いことをたくさんしていたと聞いて、とても驚いたから。

ウ すみれちゃんが天国の入り口で門前払いされるのはかわいそうだと思つたから。

エ すみれちゃんがいつかこの世から姿を消すと言つたことにショックを受け、動搖したから。

問五 —— ③ 「わたくしはこの子に、責任がありますもの」とありますが、責任とは具体的にどのようなことを指していますか。

十五字以内で説明しなさい。

問六 —— ④ 「二つのきれいな湖」とは、何を例えてていますか。文章中から八字で書きぬきなさい。

問七 □ 1 □ 4 にあてはまる言葉を、本文中からそれぞれ書きぬきなさい。

問八 —— ⑤ 「リボン」とありますが、すみれちゃんが「リボン」という名前に込めた思いを、本文中の言葉を使って説明しなさい。

〔三〕 次の各問いに答えなさい。

問一 漢字の読みには音と訓があります。次の熟語の読みは□の中のどの組み合わせになつてありますか。ア～エの記号で答えなさい。

- ① 若葉 ② 軽傷 ③ 新顔 ④ 手配

ア 音と音	イ 音と訓
ウ 訓と訓	エ 訓と音

問二 次のことわざの□にあてはまる言葉を、あとの意味をでがかりに答えなさい。なお、ひらがなでもかまいません。

- ① 転ばぬ先の□

〈失敗しないように万が一にそなえてあらかじめ十分な準備をしておくこと。〉

- ② 弘法も□の誤り

〈その道の名人でも、時には失敗することがあること。〉

- ③ 馬の耳に□

〈いくら意見をしてもまつたく効き目がないこと。〉

問三 次の□に漢字を一字入れ、類義語（//）、対義語（↓）を完成させなさい。

- ① 案外 // □外 ② 体験 // □験 ③ 決定 ↓ □定

平成二十八年度	五	九州国際大学	名	得点
入試問題解答用紙	問	付属中学校	氏	得

— 間 —

A	B	C
---	---	---

問川

問四

問五

問六		25	
----	--	----	--

問七

八	ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---	---

	問	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
--	---	---	---	---	---	---

問二	A	B	C	D
----	---	---	---	---

1	2	3	4
---	---	---	---

問八

III	問	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
-----	---	---	---	---	---

問1	(1)	(2)	(3)
----	-----	-----	-----

問三	①	②	③
----	---	---	---